

# 軍事化ストップ!

## 日本共産党 白川よう子

岸田・自公政権が昨年打ち出した民生用の空港・港の「特定重要拠点」指定＝軍事化に、住人から「軍事化ストップを」の声があがっています。

自公政権が、四国地方で「特定重要拠点」指定を狙っているのは高松、高知、須崎、宿毛の民生用港湾。

政府は、「自衛隊等の艦船の円滑な利用にも資するよう必要な整備又は既存事業の促進をはか

る」としていますが、具体的な自衛隊等の具体的な運用は明らかにしていません。

軍民共用となることで、有事の際、攻撃対象となる危険があるだけでなく、平時の自衛隊訓練はもとより、米軍の使用も懸念されています。



イージス艦の高松港入港緊急抗議集会に参加した白川氏 (2月25日)

### 3・1ピキニデー (70年)

#### 被災の全容解明 被害者の救済を

今年の3・1ピキニデーは、ピキニ水爆被害から70年。被災の救済が急がれています。白川よう子さんは、リアルに向き合いたいと、2月29日から静岡市で開かれたシンポジウム・集会に参加しました。

29日には、高知でピキニ防災訴訟を支援する会の橋元陽一事務局長が報告、1日は高知・太平洋核被災センターの岡本啓佐副代表も報告しました。

白川さんは「核兵器禁止条約第2回締約国会議に参加した青年と笠井あきら衆院議員らとの対談など多彩な内容で、核兵器禁止条約の現在がよくわかった」と語っています。



### 「Win-Win」の関係は成り立たない 高知・学習会で報告

日本共産党の白川よう子四国ブロック国政対策委員長は、2月21日に党高知県議団が主催した「学習会」にオンラインで参加。

白川さんは、「香川県は、高松港を5万トンバースから11万トンに拡張する予算(一次)を計上し、国が肩代わりし

てくれたらいいのではないかという風潮がある。自民党県議が港の整備も期待できると賛同を迫っている」と報告し、「軍事化による危険性、近隣住人の安全・安心を無視した発想であり、国と自治体がWin-Winの関係になるという議論は成り立たない」と強調しました。

### 四国駆け巡り

#### 地域医療を守れ 総務省から聞き取り 西予市民病院の民営化



白川さんは2月16日、愛媛県西予市で進められようとしている、西予市民病院と野村病院、つくし苑への指定管理者制度導入(民営化)の問題で、西予市の和氣数男市議、

大森よう子党くらし・子育て相談室長とオンラインでつなぎ、国会内で市民の声を総務省に伝えました。

#### 安心して暮らせる賃金を 全労連「四国総行動」であいさつ

3月1日、全労連四国地区協議会の「四国総行動」で連帯あいさつしました。

白川氏は「医療・保育・ケア労働、公務労働、トラックやバスや電車、夕



クシーなど運輸労働...どの分野をとっても、安心して暮らせる労働環境や賃金ではありません。暮らせる賃金に、大軍拡ノー、大企業の内部留保にきちんと税金をかけて賃上げを」と力を込めました。

S  
N  
S  
で  
つ  
な  
が  
ら  
う

